

ふるさとふちゅう

【第18回】府中町で体験、四国お遍路（3）
道隆寺（1）寺名の由来

再発見

広島新四国八十八カ所では27番が東区温品四丁目の高尾山岩谷寺で、28番の道隆寺から府中町になります。岩谷寺は、以前は「岩谷の観音さん」の名称で親しまれ、高尾山頂の近くにありました。筆者は祭礼の夜、矢賀あたりから山頂近くの灯明を見た記憶があります。

第28番は桑多山安芸院道隆寺です。道隆寺の名称は藤原道隆にちなむと伝えられています。道隆は摂関政治の代表例とされる藤原道長の兄です。「この世をば我が世とぞ思う 望月の欠け



道隆寺本堂

たることも無しと思えば」（小右記）と歌い権勢を誇った道長も、兄道隆の生存時には頭が上がらなかったようです。道隆の娘定子に仕えた清少納言が『枕草子』、道長の娘彰子に仕えた紫式部が『源氏物語』を著したのは有名です。当時の権力者は娘を天皇に嫁がせ、将来の天皇候補となる男子が生まれたら外祖父（母方の祖父）として力をふるいました。一条天皇に嫁いだ定子と彰子それぞれに仕えた清少納言、紫式部のライバル意識は有名です。

と改称し、安芸国総祈願所と定められた」とあります。現在の地形で建物がどのように配置されていたかは不明ですが、相当な規模の寺院です。道隆は長徳元年4月10日に43歳で急逝します。道隆は自身の名前に由来する道隆寺の完成を見ずに亡くなったこととなります。藤原道隆と道隆寺の関係を直接証明する史料が確認できず、この伝承に否定的な意見もありますが、町内最古の歴史ある寺院として貴重です。

ところで四国八十八カ所77番札所は香川県多度津町の「桑多山明王院道隆寺」です。和銅5（712）年、地元領主の和氣道隆が周辺の桑の木で彫った薬師如来を安置したことから始まると伝えられています。桑多山の読みが違います。桑多山の読みが違います。桑多山の読みが違います。府中町文化財保護審議会委員 菅 信博

朝パッ君のかんたんレシピ

問健康推進課 ☎286-3257

オープンで簡単、楽々レシピ パンパン焼き

パッとカンタン！

きのこはお好みのものでもOK♪



レシピ提供：健康推進課

材料（4人分）

- ・魚の切り身（食べやすい大きさに切る）：2切れ
- ・ウインナー（斜め切り）：2本
- ・じゃがいも（5mm幅のいちょう切り）：2個
- ・にんじん（5mm幅の輪切り）：1/2本
- ・たまねぎ（横7～8mmに切る）：1玉
- ・ミニトマト（へたをとる）：1パック
- ・ぶなしめじ（ほぐす）：1/2パック
- ・塩こしょう：少々
- ・オリーブオイル：大さじ1
- ・ハーブ（ローズマリー、パセリ等）：お好みで

作り方

- ①じゃがいもを電子レンジで2分程度加熱する。
 - ②耐熱皿に魚以外の食材をパンパンに詰める。
 - ③塩こしょうを振り、魚を置く。
 - ④オリーブオイルを回しかけ、お好みでハーブを散らす。
 - ⑤オーブントースターで15分加熱し、とめて余熱で5分焼く。
- ※焦げそうになったらアルミホイルをかぶせる。